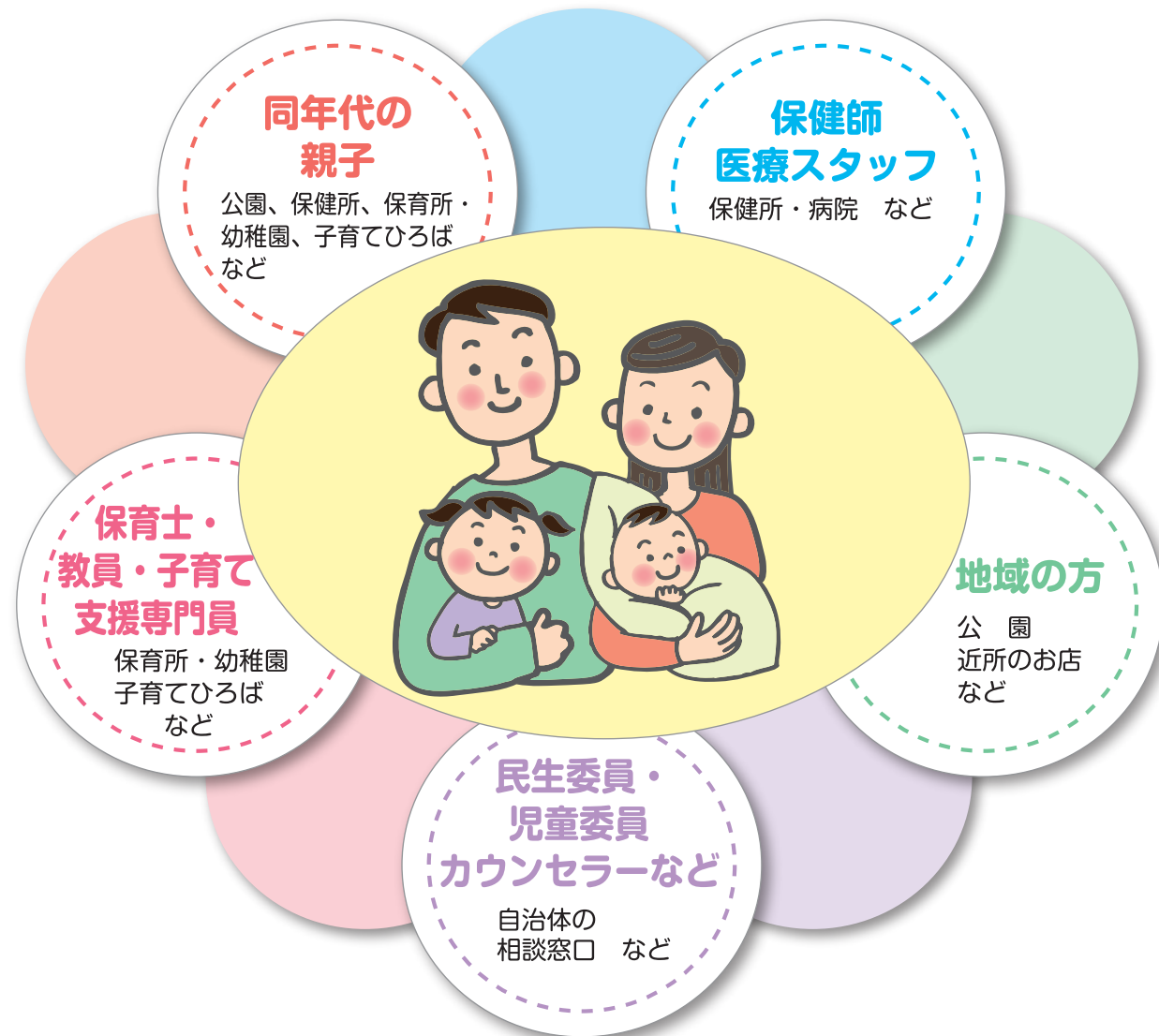


つながって子育て

子育て中のあなたの周りには、たくさんの仲間や応援団がいます。
気軽に相談しながら、周囲の方の力も借りて、子育てをしていけるといいですね。



大人が変われば、子供が変わる
子供が変われば、未来が変わる

次代を担う子供に対し、親と大人が責任をもって正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で当然の心得を伝えていく取組です。

心の東京ルール

- 毎日きちんとあいさつさせよう
- 他人の子供でも叱ろう
- 子供に手伝いをさせよう
- ねだる子供にがまんをさせよう
- 先人や目上の人を敬う心を育てよう
- 体験の中で子供をきたえよう
- 子供にその日のことを話させよう



2020年 東京オリンピック・パラリンピック
お子さんは何歳になりますか？

1964年の東京大会、柔道の無差別級決勝で、オランダのアントン・ヘーシンクが日本の神永昭夫に、抑え込みで勝ちました。このとき、喜びのあまり畳の上にながろうとしたオランダの関係者を、ヘーシンクは直ちに制しました。礼を重んじ、相手を敬うという、武道の心を示した行動でした。

オリンピックでのアスリートの姿から、

- ルールを守るフェアプレー
- 精一杯自分の力を発揮すること
- 互いに尊敬すること

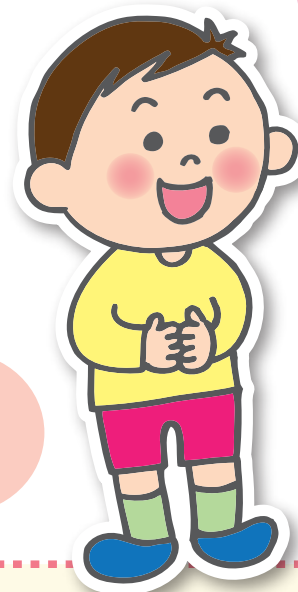
など、子供たちは多くのことを学び、心に刻むことでしょう。



小さな子供を育てていらっしゃる保護者のみなさんへ

きまりをまもる こころを育てる

～子供たちの規範意識を育むために～



- 規範意識とは、
「法令などの社会のルールの大切さを理解し、それらを守ろうとする意識」です。
- 大切なのは分かるけれど…
「大きくなってから、身に付いていくものなのでは？」
「決まりを守らせるには、いつも厳しくしなくてはいけない？」
- いえいえ、難しいことでも、厳しいだけのことでもありません。
小さな子供の規範意識の「芽」🌱は、
毎日の何気ない生活の中にたくさんあります。
- 規範意識の🌱を育むために、大人はどのように関わるとよいのでしょうか。
このリーフレットでは、保育所や幼稚園での**保育のコツ**を交えて、お知らせします。

「規範意識」の芽は このように育ちます

子供は、身近な大人に教えられたり、友達と遊ぶ中でけんかや仲直りなどを経験したりしながら、少しずつルールやマナーを身に付けていきます。発達に合わせて、上手に関わっていきましょう。



小学校入学



誕生



よい行動を教えることは、子供への大切な贈り物です。

※「お父さん」「お母さん」は、父母その他の保護者を表しています。

毎日の生活の中で

徐々に外の世界と関わる中で

同年代の友達と、一緒に遊んだり生活したりする中で

お父さん
お母さん※
大好き

お父さん
みたいに
になりたいな

お母さんが
言っているから、
きっとそうだ

いやだ！
自分のやり方が
いい！

ちゃんと
やったほうが
楽しいよ

心の
つながりを
育てる

手本を示す

教える
褒める

体験を通して
学ばせる

● 話しかけたりスキンシップを楽しんだりしながら、身近な大人との心のつながりを育てましょう。

● 子供は、信頼する大人の口調やしぐさをそっくりまねします。大人自身のふるまいを見直すチャンスでもあります。

● 大きな事故につながる危険な行為や、人を傷付ける言葉や行動など、いけないことは、本気で叱りましょう。
● 挨拶や我慢、その場に応じたふるまいなど、よい行動ができたときにしっかりと褒めましょう。
● 子供は失敗を繰り返しながら、ルールやマナーなどを学びます。失敗を前向きに受け止めて、体験から学ぶ姿勢を大切にしましょう。

こんなとき、
どうしたらいい？



「いやだ」「しぶんでやる！」
と言っでは、できずにくずります。車が来ているのに、構わずに走り出すこともあります。毎日毎日、疲れます…。

やってみよう！
プロの技

「おてて電車、トンネルくぐりまあす」
～その気にさせる～

袖にうまく手が通せずにくずっているときには、このひと言。手を取って、「袖トンネル」の途中までさりげなく入れてあげましょう。

「忍法、壁の術！」
～安全な行動を楽しく教える～

狭い道で車が来たときには、この言葉とともに、**子供と一緒に**ピタッと壁にくっつきます。

子供は楽しいことが大好き。大人も面白がって一緒にすることが、その気にさせる秘けつです。自分でできた喜びや自信が、子供の規範意識を支えます。

「魔法のメガネで、見てみようっと」
～よさを見付けて、褒める～

手で丸を作った「魔法のメガネ」を使って、子供の**よいところや頑張っていることを、たくさん見付けましょう**。
褒められたら、誰でもやる気になりますね。

「あ、ちょうちょ！」
～気分を変える～

子供は目の前のことで頭も心もいっぱい、切り替えが難しいものです。そんなときは、大人が**楽しそうに**、「あ、○○！」と気をそらしてみよう。
大きくなってきたら、「○○ちゃんはこうしたいのね。」と**気持ちを受け止める**、「お母さんは、△△してくれるとうれしいな。」と**大人の意見を伝える**などのことも大切です。

子育ては、思うようにならないことがたくさんあります。でも、大丈夫。みんなが通る道です。子供の「いやだ！」「自分で！」も、成長の姿の一つです。子供と一緒に喜んだり迷ったりしながら、自分らしい子育ての仕方を見付けましょう。

「さすが○○！」
～誇らしさを上手にくすぐる～

「さすが○○」には、子供の名前でも、「年長さん」でも。誇らしさを上手にくすぐって、**自立に向けて応援**しましょう。

